

令和6年度 第1回 城南図書館・児童館 連絡協議会 (城南児童館運営審議会) 議事要録

1 開催日時及び場所

令和6年7月24日(水) 13:00~14:00

場所:城南児童館遊戯室

2 出席者 15名

尚綱大学短期大学部 幼児教育学科 教授

城南子育て支援センター(小木こども園) (欠席)

熊本市立隈庄小学校 校長

熊本市南区文化協会 会長

隈庄校区青少年健全育成協議会 会長

舞原自治会 会長 (欠席)

豊田小学校PTA 会長

杉上校区主任児童委員・民生委員

親育ち支援の会 ポトフ

地域子育てクラブピカピカ 会長

城南まちづくりセンター 城南公民館 館長

城南地域ブランド力向上委員会 TEAM城南ワンダホー 会長

熊本市こども局 こども育成部 こども支援課

熊本市教育委員会事務局 教育総務部 熊本市立図書館

城南図書館管理運営共同企業体 代表

3 議事内容

1) 令和6年度事業計画及び取り組みについて

2) 利用者数等の報告

- ・資料に基づき、事業計画及び取り組み、利用者数等について報告
- ・アンケート集計結果について、資料に基づき、別途報告

4 質疑応答

「城南図書館・城南児童館へ意見等」

委員 A

資料を見せていただき、非常に色々な取り組みをされていて、目を引く内容もありますし、様々なニーズに応えられているのだろうと思っております。

私はよく図書館に伺うのですが、平日の昼間は、本当にすべての机が埋まっているのではないかと思います。皆さん利用されています。しっかりマナーも守り活用されていると思います。

こちらでも引き続き、幅広い年代が活用できるようにしていただけると有難いです。

日本もコロナや猛暑、大雨、そして熊本で言うと地震があり、私たちも不安な状況の中で、落ち着いて生活が出来るような環境にならず、この10年間厳しい状況にいると思っております。そのような中で城南・図書館・児童館を運営されてきたわけですが、地域の方々の支えがあって、続けてこられたのではないかと思います。

また、障がいを持った子どもさんがいらっしゃるご家族も、遠慮なく来ることができ、地域の方々と繋がる場を持てるというなと感じております。

委員 B

城南図書館・児童館には、地域の様子や良さを知る学習や公共施設の役割を知るという、学びの場としていつも大変お世話になっております。

また、放課後等や休みの日の過ごし方を尋ねると、友達と本を読んだり、友達と遊ぶ、親子で過ごす場所として、図書館・児童館を利用しているようです。

子どもたちにとって、とてもよい環境を作って下さって感謝しております。

図書館では、火の君学級との連携もされ、力を入れられているという事ですが、今、小中学校では不登校の児童生徒の人数が右肩上がりです。

学校生活や集団に対して適応が難しいお子さんというのは、低年齢化しておりまして、低学年から学校に登校する事が難しいという状況です。

このような公共施設が社会とのつながりを作る1つの場として、子どもたちの居場所になっているという事が非常に有難いと思っております。今や、学校だけが学ぶ場所ではありませんので、広く社会と子どもたちが繋がっていくという意味で、今後も続けていってもらえたら非常に有難いと思っております。

委員 C

この資料を拝見させていただき、城南図書館・児童館の取り組みは素晴らしいと思います。

その先に見えるものは、やはり地域コミュニティ活動だと思います。

これを、図書館・児童館がしっかり見据えて取り組んでいる、そのような事業に見受けられます。

地元の地域づくり、まちづくりに直結しているということで、利用者もとても増えていると思います。

これからも、人づくり、地域づくりに大きく貢献されると思っております。

事業計画にもあった、フードロス事業や地下水保全の問題は、まさに地域の関連する事業です。

特に菊池、大津あたりは地下水をどうするのかという、非常に大きな問題になっています。

これから熊本県をどう作り上げていくのか、私たちは城南町に住んでいますが、決して城南町は関係ない話ではありませんので、このように図書館・児童館の方々と連携し、私どもの取り組むことも必要ではないかと痛感しております。

それから、もう一点お伝えしたいことは、少子高齢化についてです。

マスコミが報道していますように、一人の女性が生涯生む子どもは、日本で今 1.23 人という事です。この人口減少、どう歯止めをかけていくのかという非常に大きな課題があると思います。熊本市でも少子化対策をすでに取り組んでおられるというお話でした。また、世代間交流という大きな文化事業があったと思います。これも、城南図書館・児童館の資料を見ると、しっかりと取り組んでおられます。今後も是非、続けてほしいと思います。

委員 D

今年も豊田小学校に読み聞かせに来ていただき、ありがとうございます。資料内のアンケートの 1 つに、「情報を得るために使用されている方法はどちらですか？」という質問がありました。今は、小学生と保護者さんのみの世帯で新聞をとっている家庭は、ほとんどおられず、豊田校区は元々人口が少ないので、ホームページにアクセスして、情報を得るという方もおそらく少なかったのではないかと思います。そのような時など、是非 PTA を通してもらい、学校安心メールで私たちからも発信できますし、学校にお伝えすることも出来ます。せっかく素晴らしい取り組みを児童館も図書館もされているので、積極的にご活用ください。私たちも広めていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

委員 E

城南図書館・児童館とは、城南中高生ボランティアの活動を一緒にしております。下益城城南中学校では、月に 1 回チャレンジ下城 DAY というものがあり、その時間は自由に子どもたちが活動してもいいというのですが、本年 9 月から城南中高生ボランティアの活動も入れていただける事になりました。そこでワンダホーでも企画しております城南夏まつり、幻灯彩など様々なイベントを企画していますので、中学生がたくさんボランティアで参加してくれれば嬉しく思います。今後も一緒に活動をよろしくをお願いします。

委員 F

先日、他の図書館の記事が大きく載っており、読ませていただいていたのですが、イベントやその他の事でも城南は負けていないと思いました。この会に参加させていただくようになり、これだけのイベントをされているという事を改めて知りましたし、来館者もととても多いという事も分かったので、城南図書館・児童館をもっと知ってほしいと思いました。先ほどお話にもありました、発達相談のコーナーも区役所や専門機関は予約が取りづらい、少し敷居が高いところもあると思いますので、気軽に遊びながら相談したいという方にはとても良いと思います。また、城南児童館が実施されている保育士研修も、今年は発達に関する内容で、私たち専門家がそのような研修に参加させていただき有難いですし、様々な視点から事業を企画していただき、非常に素晴らしいなと思います。

委員 G

分かりやすい資料をありがとうございました。

地域子育てクラブは、約 20 組の親子が所属しており、児童館と一緒に活動させていただいています。

今後も一緒に協力して頑張っていきたいと思っています。

個人的にも小さい子どもが二人おり、毎日のように城南児童館を利用させてもらっています。

子どもたちも毎日行きたいと言っています。

それは、城南児童館の雰囲気良さや、先生方との関係、季節ごとの行事などもあり、とてもいい環境だからだと思います。

これからもお世話になります。

委員 H

毎回、参加させていただいて、イベントの多さと充実した内容に感心しているところです。

私たちは、訪問活動をしておりますが、南区界限では城南児童館をお勧めしております。

やはり、この暑さだと皆さん外でも遊べず、出かけるのを躊躇されると思います。

城南図書館・児童館はクーリングシェアが徹底されていますし、イベントも本当に楽しめるものがたくさんありますので、是非活用してほしいと思います。

委員 I

詳しい資料など、ありがとうございます。

城南公民館といたしましては、資料にもあります通り共催という事で、様々な事業でご協力いただいておりますし、大変助かっております。

公民館は、年齢が比較的高い方々が利用しやすい施設だと思います。

そういった中で、隣にこのような施設が出来まして、私たちが苦手だったところを補ってもらうような事業の計画、実施をしていただけて、とても助けられております。

今後も、このような協力体制を是非取っていただければと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひ致します。

委員 J

資料を見せていただきまして、変わらずたくさんの取り組みをされているのに感心しております。

熊本は、赤ちゃんポストがあるので、里親のニーズがかなり高いのですが、圧倒的に足りていないというのが現状です。

里親の支援センターがあるのですが、特に南区は支援センターが活動しても、関心を寄せられる方自体が少なく、里親や里子についてお話を聞きませんかと活動をしても、参加者が本当に少ない状況です。

そういった里親制度に関するコーナーのようなものが出来たら有難いなと思っています。

子育て中の方は、なかなか里親になろうとは思われないと思いますが、なかなか子どもさんに恵まれない方には是非、考えていただければと思います。

最初から養子縁組ではなくても、夏休みや長い休みの間だけというところから始めても良いですし、色々なやり方があるという事なので、私も、今後更に勉強して情報を発信していきたいと思っています。

是非図書館・児童館でも取り組んでもらえれば嬉しいです。

企業体代表

今日も本当に貴重なご意見、たくさんありがとうございます。

全てにお答えすることはできませんが、今お答えできることだけ何点かお答えをして参りたいと思います。不登校の現状についてお話があったところでございますが、私どもとして出来ることは本当に小さいことですが、障がい者支援として、今年は支援学校から職業体験を私どもが管理運営する中央公民館の図書室で受けさせていただきました。

「図書館の仕事を学ぶ」ということで、10日間ほど体験をされ、また、この城南図書館のスタッフも応援に入り、マンツーマンで指導させていただいたところでございます。

そうしたところ、正式に就職をしたいということで、支援学校から先日連絡をいただいています。

私どもとしては、なるべく前向きに、市立図書館とも相談しながらになりますが、この図書館という公共の場に、支援学校を卒業される障がいをお持ちのお子様の職場として提供できることが、もし叶うなら、ぜひ取り組んでいきたいと、今、学校側と調整を図っているところでございます。

本当に小さな話ですが、こういったことにも我々は少しずつ前を向いて、進んでいかなければいけないと思っています。

人口減少の問題、これはもう本当に待ったなしの状況でございます。

私どもとしても、様々な研究、勉強会に参加させていただいておりますが、2040年問題、2040年には総人口の35%が65歳以上になってしまう。

熊本市に関しましては、ほぼ2015年対比で2040年の人口はマイナス10%程度であろうという発表がされております。

この少子化だけではなくて、人口減少に対する何か手立てを熊本市の方と一緒に打っていかなければと思っていますので、これもできることは少ないですが、しっかり課題として抱えていきたいと思っています。

最後に皆様方から事業の数について、お褒めの言葉をいただいたところでございますが、この事業数を確保するのは本当に現場のスタッフの頑張りでございますので、今後も現場のスタッフに、ねぎらいの言葉もおかけいただきながら、応援していただければと思います。

短い時間で、なかなか全てお答えできませんが、皆さんからのご意見、しっかり議事録に残して結果もお伝えしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。

ありがとうございました。